

## 北海道企業局工業用水道事業経営評価委員会議事要旨

### 【開催要領】

- 1 開催日時：平成28年7月22日（金）14:00～16:00
- 2 開催場所：北海道企業局会議室（道庁別館10階）
- 3 出席委員：（五十音順）
  - 委員 安達 陽子（安達中小企業診断士事務所 所長）
  - 委員 柄澤 高雄（北海道経済連合会 産業振興グループ 次長）
  - 委員 菅原 浩信（北海学園大学 経営学部 教授）
  - 委員長 湊 孝康（日生バイオ株式会社 相談役）
  - 委員 村上 淳（株式会社道友エージェンシー 代表取締役社長）

### 【次第】

- 1 開 会
- 2 議 事
  - (1) 平成27年度決算の概要
  - (2) 平成28年度当初予算の概要
  - (3) 工水別の契約水量の動向
  - (4) 工業用水道事業経営健全計画の進捗状況
  - (5) 需要開拓の取組状況
  - (6) 室蘭地区工業用水道第三期改修事業の進捗状況
- 3 その他
  - (1) 「北海道企業局工業用水道事業経営評価委員会」の取組状況
  - (2) 「工業用水需要開拓促進委員会」での議論
  - (3) その他
- 4 閉 会

### 【意見等要旨】

事務局より資料の説明後、委員から次のとおり意見等があった。

- （平成27年度決算の概要）
  - 経常収支は右肩上がりになっているが、3工水全体では全国平均に達していないことから、事業運営に当たっては、トップライン（売上）を上げていく努力が必要である。
- （平成28年度当初予算の概要）
- （工水別の契約水量の動向）
  - 「経営健全化計画」は、期間中に計画値と実績値に乖離が生じるなど、状況の変化があった場合は、適宜、修正を加えていくことが望ましい。
- （需要開拓の取組状況）
  - すぐには効果に結びつかないケースも多いが、引き続き、アンケート調査の分析などによる効果の検証を行いながら、営業活動に取り組む必要がある。
  - 経済部所管の企業誘致推進会議とラップする部分があるため、情報共有に努めるべき。
- （「北海道企業局工業用水道事業経営評価委員会」の取組状況）
  - 委員からの意見等に対する企業局の対応が大変良くまとめられている。これまでの取組をフォローアップし、実行性のあるものにするのが大切である。
- （「工業用水需要開拓促進委員会」での議論）
  - 短期的には、需要開拓促進行動計画で示された項目を着実に進めることが重要であるが、中長期的な展望を持つことも必要である。
  - 先進的な情報技術や植物工場などに関連して、道がイニシアティブを持って、北海道経済連合会など関係機関とも連携を取りながら、誘致活動に取り組むことに加え、道内企業を育てることも大事である。